

「七十七ビジネス大賞」「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業紹介

第7回 「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業（平成16年度）



株式会社ガーデンニ賀地 代表取締役社長 田中 秀幸氏

住所 : 仙台市青葉区上愛子字遠野原34番1
設立年 : 昭和38年
業種 : 造園業
資本金 : 40百万円
従業員 : 35名
URL : <http://www.nigachi.co.jp>

水等の自動管理を行う植物栽培台・鉢「オートポットシステム」を開発し、都市緑化による環境保全に取り組む

事業の概要

地球温暖化現象を緩和する一方策として、また都市環境への緑化推進という観点から、植物への水・肥料・空気などの管理を適格かつ自動的に行える植物栽培台・鉢である「オートポットシステム」を開発・実用化に成功した。今後は、公共的な設置場所にはレンタル方式で、テラスなどの家庭用の需要については直売方式で販売の拡大を目指す。



オートポット
(左:リビングタイプ、右:テラスタイプ)



本社工房



ガーデン・ガーデン

受賞の理由

従来の植物栽培台・鉢の灌水法はタイマー使用による定期的な管理や、土の乾き具合を人間が実際に確認して供給することなどが行われていた。しかし、めまぐるしく変わる気象状況によって鉢内の水分状況が十分把握できないため、植物にとってより適切な給水方法の開発・実用化が要望されてきた。

当社が開発した「オートポットシステム」は、鉢内の水分状況に応じて鉢ごとに水の供給量を制御するバルブが無動力で作動するため、植物の大きさや気象状況、設置場所の違いに応じた給水を可能とした。また、水分と空気の供給を交互に行うことで根腐れの発生を防ぎ、施肥の自動化により省力化も図った。



仙台駅前：ペDESTリアンデッキ

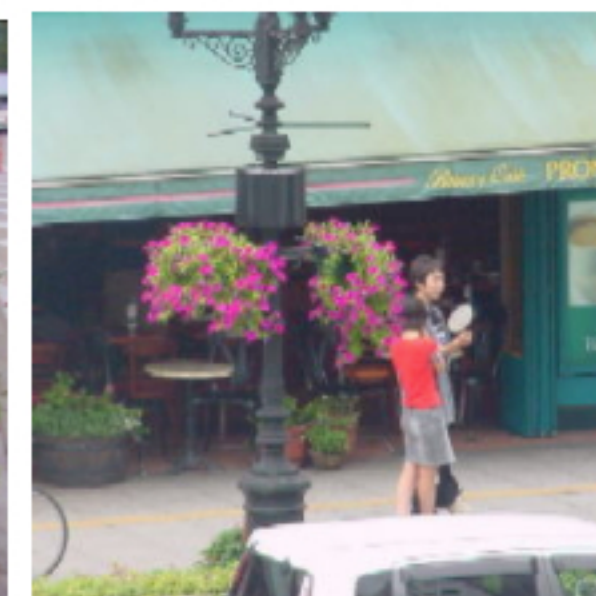
屋上緑化、壁面・舗装面、横断歩道橋、中央分離帯など様々な場所で緑化が可能になるという画期的な製品であり、都市環境の改善やヒートアイランド現象の緩和という観点から高く評価できる。また、穴のない鉢のため化学肥料混入の水は植物に全部吸収されることから、土壌や地下水への影響を未然に防止しており、環境へ配慮した点も評価できる。

すでに仙台駅のペDESTリアンデッキや駅前の街路灯、仙台西道路の中央分離帯に設置され、今後の全国展開に向けたデータ収集も行政と共同で実施している。また、福岡県ではグリーンオートポットシステム緑化事業組合が設立されるなど、全国からも高い関心を呼んでいる。

屋上において利用可能な植物栽培ベース「オートテーブルシステム」を考案するなど、今後とも従来の植栽事業にとどまらず、「杜の都」仙台から都市緑化による地球環境保全への取り組みを全国に発信しうる企業として大いなる飛躍が期待できる。



中央分離帯（国道48号線仙台西道路）



街路灯（仙台駅前）

● ご商談等につきましては、掲載企業に直接お問い合わせ下さい。

▶ BACK